

むすぶ 結海

— 祝福が立ち上がる場所 —

海はこれまで、人や文化、暮らしを運び、町と町を結んでいた。
海の在り方をなぞるように、結婚式という人生の節目を暮らしの延長へと開いていく。
光と影の移ろい、季節の変化、円形の構成、そして海という存在はすべて時間が循環し重なっていくことを示す。

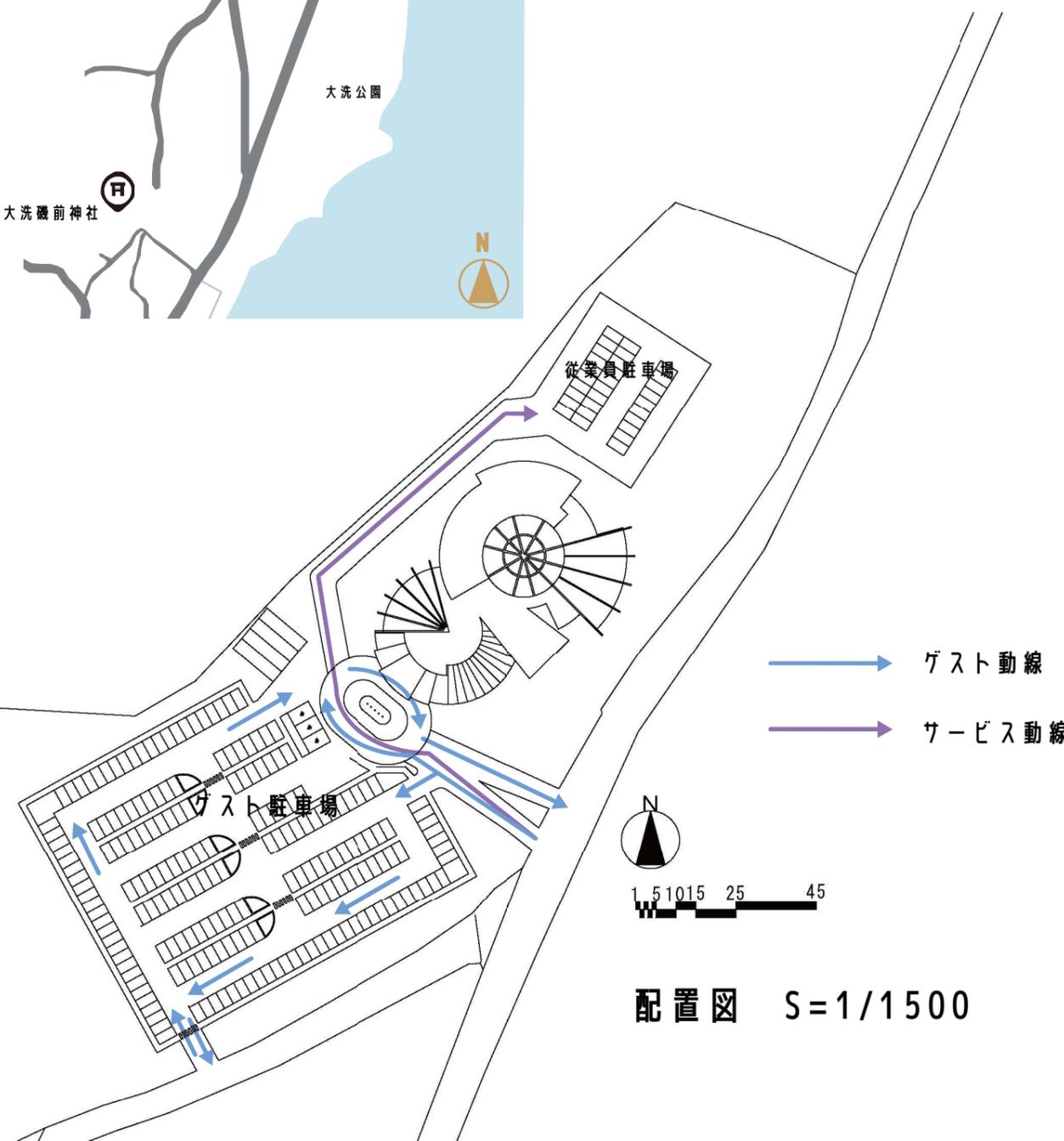
水戸日建工科専門学校 2年
建築インテリアデザイン科 河西樹香
建築設計科 池田怜生
直井大空



計画地

住所：茨城県東茨城郡大洗町磯浜町 8249-4

旧茨城県立児童センター こどもの城

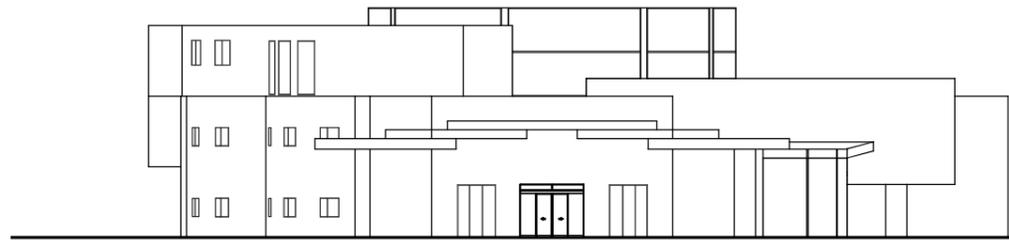


【設計主旨】

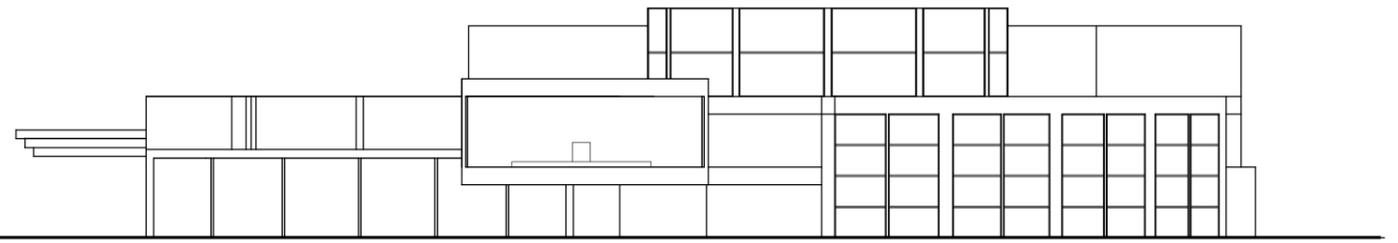
近年、結婚式に対する価値観は多様化し、結婚式場は特別な一日を演出するための場所になりつつある。

しかし本来、結婚式とは日常から切り離された一度きりのイベントではなく、人生の流れの中に位置付けられる節目の時間であると考えた。

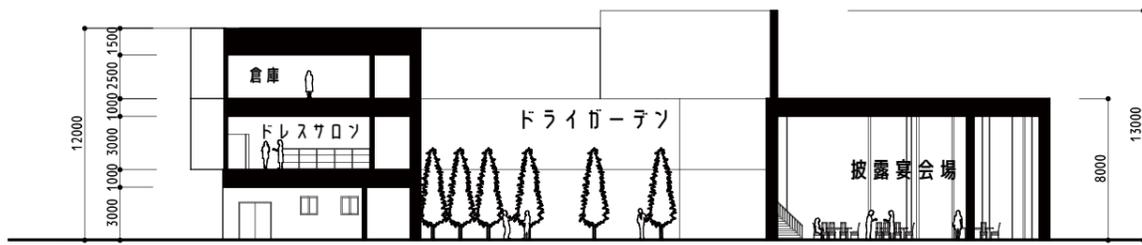
そこで本計画では、「集まる」「祝う」「食べる」という、人が生きる中で何度も繰り返してきた三つの根源的な行為を軸に、人生の節目ごとに、人生の節目ごとに何度も「帰ることができる結婚式場」を大洗町に計画する。結婚式を非日常として消費するのではなく、人生の節目を確かめなおすための時間として再定義することを試みた。



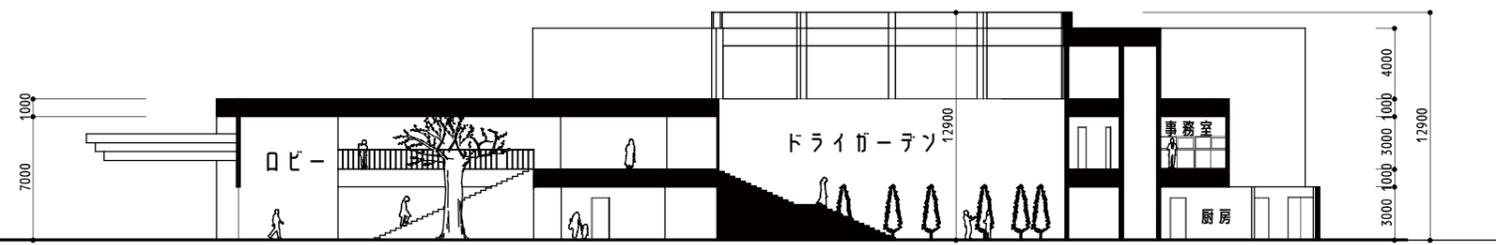
北西立面图 S=1/400



北東立面图 S=1/400



B-B' 断面图 S=1/400



A-A' 断面图 S=1/400

模型写真

